

## 国見まちづくり株式会社の決算状況

町の出資する法人、国見まちづくり株式会社は、道の駅国見あつかしの郷の指定管理を担っています。その開業3年目の決算状況などをお知らせします。

来場者は、年間153万人(前年比△4.9%)で開業以来の累計は484万人となり、引き続き多くの方にご利用いただいています。令和元年度の決算は、売上が638,415千円(前年比△2.5%)、当期純利益は7,992千円(前年比152.7%)で減収ではありましたが増益となり、2年続けての黒字決算となりました。なお、減価償却費を除く単年度収支は19,420千円(前年比7.4%)となっています。

◆令和2年3月31日現在

資産総額	130,201千円
負債総額	87,715千円
資本総額	42,486千円

### 【決算の概要】

項目	金額(千円)
売上高	638,415
売上原価	417,248
販売費・一般管理費	244,558
営業利益	▲23,391
営業外収支	31,558
税引前利益	8,197
法人税等	205
当期純利益	7,992

※一般管理費には、減価償却費11,429千円を含む。  
 ※営業外収支の主なものは、町指定管理料22,938千円、産業復興雇用支援助成金2,983千円など。



地域おこし協力隊  
門口 礼

## 地域おこし協力隊活動日記 vol.1

子どもたちの無限の可能性を引き出すお仕事！



こんにちは！ わたくし、国見町地域おこし協力隊の「門口礼」と申します！ 町で見かけた時はぜひ「れいさん、れいくん」と呼んでください。よろしくお願いします！

さて、わたしの地域おこし協力隊の仕事は、国見小学校や県北中学校の子どもたちが「幸せに生きる



子どもたちに寄り添って活動しています(放課後学び舎)

力」を身につけるサポートをすることです。具体的には、「十人十色の学び舎」をキャッチフレーズとした「放課後の学び支援事業」や、「あそびにこれるオフィス」をキャッチフレーズとした「アトリエ事業」などに取り組んでいます。

日々の取り組みの中で、国見の子どもたちの心の中にある無限の可能性を感じています。「お化け屋敷を作りたい！」と企画を考える子どもたちのイキイキとした様子、段ボールで作るオリジナル文房具入れが完成したときの満面の笑みなど、子どもたちの笑顔やイキイキとした様子を見られることが何よりも幸せです。地域おこし協力隊として、幸せな仕事に取り組ませていただき感謝しています。

これからも活動を通じて、子どもたちの無限の可能性を少しでも引き出せるように、国見の子どもたちと関わっていきたくと思っています。



交通対策協議会長賞(最優秀賞)を受賞したみなさん

# 国見小児童が交通安全を呼びかけ

## 国見町小学生交通安全標語コンクール

### 国見町交通安全対策協議会(太田久雄会長)は、交通安全への意識を高めてもらうことを目的に、国見町小学生交通安全標語コンクールを毎年開催しています。国見小学校の児童を対象に交通安全標語を募集し、応募総数178点の中から、入賞作品26点が選ばれました。

入賞した標語が書かれた看板は町内各地に設置され、交通事故防止を呼びかけます。なお、例年開催している表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

#### 【入賞者】(敬称略)

- ◆交通対策協議会長賞  
 鍋島 拓実(二年)  
 豊野 真彩(二年)  
 佐藤 弘康(三年)  
 村上 星花(四年)  
 村上 京汰(五年)  
 内村 樹琉(六年)

#### ◆教育長賞

- 渡邊 航平(二年)  
 安藤 禅(二年)  
 松田 梨愛(三年)  
 鍋島 維希(四年)  
 八島 奎祐(五年)  
 大勝 美緒(六年)

#### ◆優秀賞

- 田村 悠琉(二年)  
 高橋 由宇(二年)  
 高橋 一陽(三年)  
 渋谷 晃希(四年)  
 大沼 泰雅(五年)  
 菅野 未悠(六年)

#### ◆交通安全協会各部会長賞

- 藤田 菊地 悠翔(六年)  
 小坂 菅野 航太(二年)  
 森江野 鈴木 俊也(六年)  
 大木 渡邊 由奈(四年)

#### ◆各地区交通安全母の会長賞

- 藤田 五十嵐智咲(四年)  
 小坂 大内 弦人(五年)  
 森江野 八巻 希空(二年)  
 大木 大沼 蓮(四年)

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動(7月16日～25日)の県下一斉強化日にあわせて町交通対策協議会は7月16日、道の駅国見あつかしの郷とJR藤田駅前交通安全啓発活動を行いました。

交通安全協会各部会や各地区交通安全母の会、警察署のみなさんが交通安全啓発のチラシやティッシュ、反射材を配布し、交通事故防止を呼びかけました。今年度、藤田地区は反射材用品等着用推進事業モデル地区に指定され、啓発活動を通して反射材の普及に努めています。



Interview  
 福島北警察署桑折分庁舎  
 鈴木 孝洋 交通第3係長

今回の運動では、子どもと高齢者の交通事故防止などを重点として交通安全啓発活動を展開しています。悲しい事故を1件でも減らすために、みなさんと一緒に交通事故防止へ取り組んでいます。みなさんも交通事故を他人事だと思わずに一人ひとりが安全運転・安全通行に努めるよう、よろしくお願いします。

## 夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

### 交通事故ゼロへ 街頭キャンペーン



道の駅ではくにみもたんも交通安全を呼びかけ